

大分県長期漁海況予報

〔令和元(2019)年8月～12月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部
879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

海況経過<平成31年4月～令和元年7月>

■黒潮

- ・6月下旬と7月中旬に、九州南東沖に小蛇行が形成され、都井岬～足摺岬沖を東進しました。
- ・潮岬以東では、A型(大蛇行流路)が持続しました。

■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、4月は「平年並」、5月は「やや低め～平年並」、6月は「平年並～やや高め」、7月は「平年並」で推移しました(図1)。

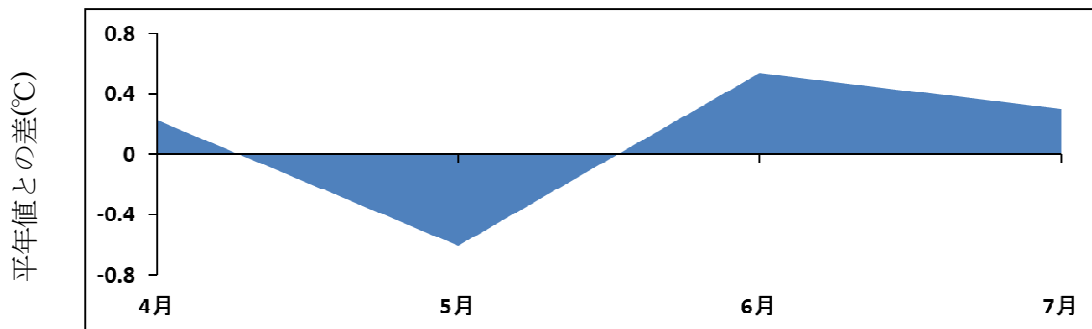


図1 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、4・5月は「やや低め～平年並」、6月は「平年並～やや高め」、7月は「やや低め～やや高め」で推移しました(図2)。

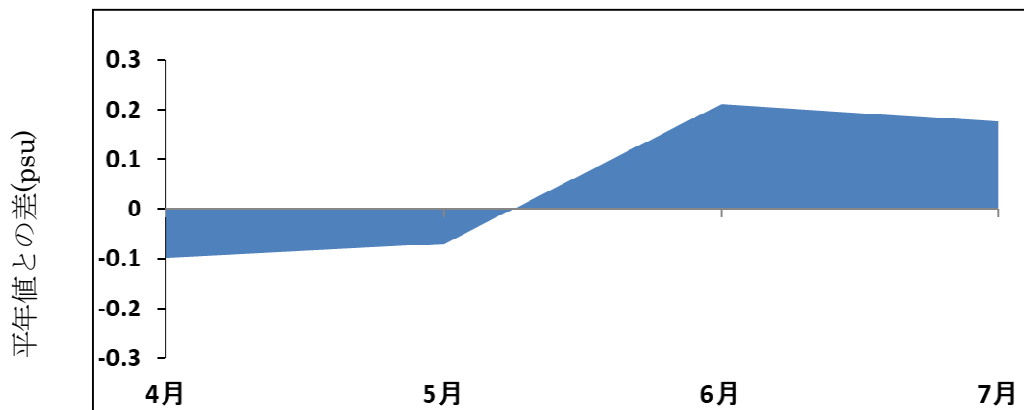


図2 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

今後の海況の見通し＜令和元年8～12月＞

■黒潮

- ・都井岬～足摺岬沖では、8月までは離岸傾向で推移し、9月以降小蛇行の東進に伴い接岸傾向で推移するでしょう。
- ・潮岬以東ではA型(大蛇行流路)で推移するでしょう。

■沿岸水温

沿岸水温は「平年並」～「高め」で推移するでしょう。

■予測の説明と根拠

- ・黒潮流路予測は令和元年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係都道府県:2019)を参考にしました。
- ・沿岸水温は気温の影響を強く受けるため、福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」を利用しており、予報を「平年並」～「高め」としましたが、最新発表(令和元年8月23日)では、今後の気温が以下のように予測されているため、「高め」で推移する可能性が高くなりました。

「低め20%、平年並30%、高め50%」

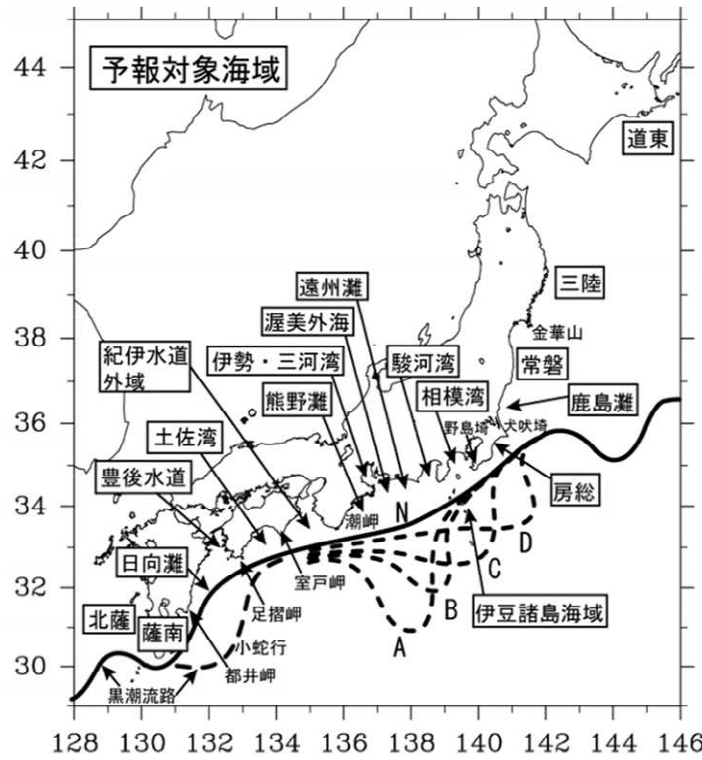


図3 黒潮流型の分類

※上図は太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報
(水産研究・教育機構プレスリリース資料)より引用

■マイワシ

□2019年4～6月の漁況経過

2019年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの水揚量は176トンで、前年比9,441%、1986～2018年の平均値(以下「平年」)の比5%と、前年を大きく上回りましたが平年を下回りました。

なお、近隣海域^(用語解説②)では宮崎県は前年の145%、愛媛県は前年の810%、高知県は前年の2,706%と、各県好調でした(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

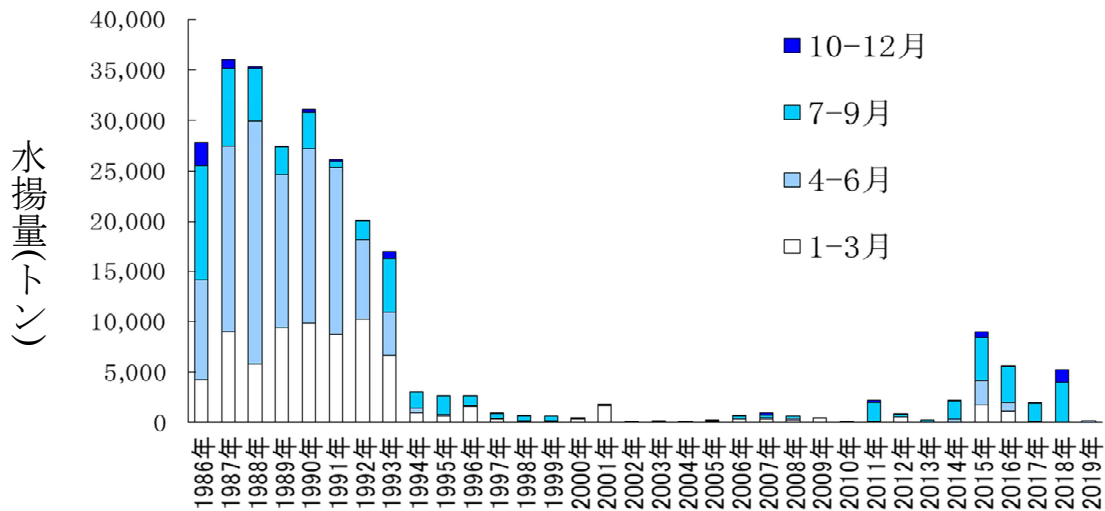


図4 まき網によるマイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2019年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は、前年並～上回るでしょう。(2019年8～12月:4,567トン)

水揚対象年級群および体長:

8～12月は被鱗体長12～18cmの0歳魚(2019年生まれ)が主体となるでしょう。



【説明】

予測期間中は、0歳魚(2019年級群)が水揚の主体になる見込みです。5～6月の水揚量が前年を上回ったことから、期間中の水揚に期待が持てますが、水揚が5月の局所的であり、6月の水揚がごくわずかだったことから予測は前年並～上回るとしました。

■カタクチイワシ(成魚)

□2019年4～6月の漁況経過

2019年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの水揚量は289トンを、前年比48%、平年比45%と、前年、平年とも下回りました。水揚の主体は、被鱗体長^(用語解説①)7.0～9.5cm前後の0歳魚(2019年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の169%、愛媛県では前年の97%、高知県では前年の88%の水揚量となっています。(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

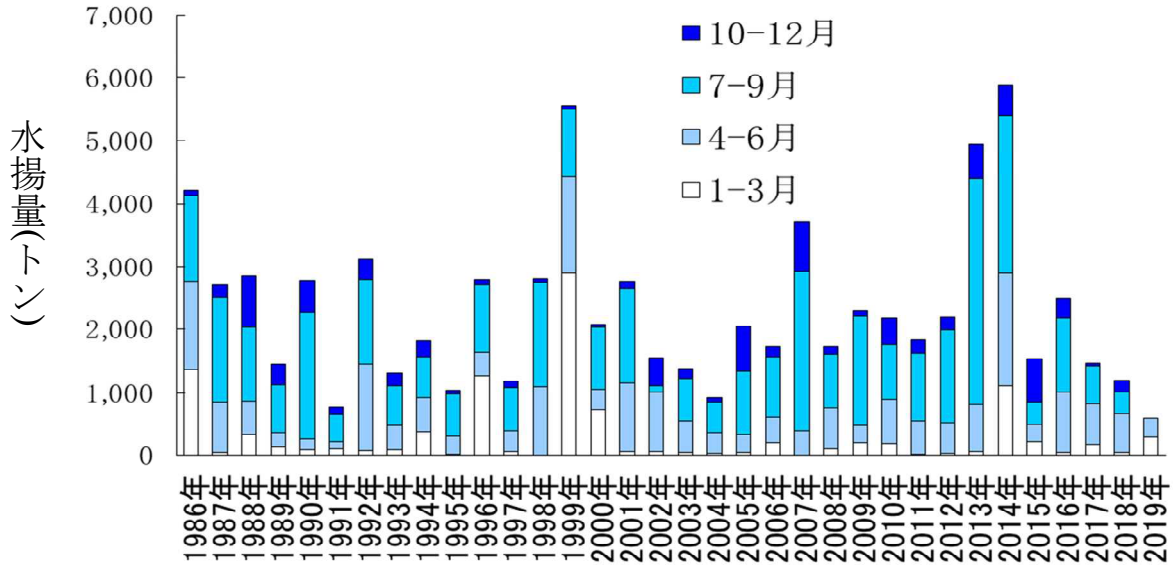


図5 まき網によるカタクチイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2019年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は、前年並～上回るでしょう。(2018年8～12月:342トン)



水揚対象年級群および体長:

被鱗体長8cm前後の0歳魚(2019年生まれ)主体に1歳魚(2018年生まれ)が混じるでしょう。

【説明】

1月～6月の水揚量が前年並であることから(前年比90%)、0歳魚(2019年級群)が水揚の主体となる8月は前年並であると予想されます。一方、8月～10月の3ヶ月間における水揚量は4月～6月の宮崎県シラス水揚量と正の関係が認められ、その推定値は前年を上回る結果となりました。資源状態はあまり良くないとされていますが、以上のことから予測は前年並～上回るとしました。

■ウルメイワシ

□2019年4～6月の漁況経過

2019年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は578トンで、前年比239%、平年比312%と、前年、平年を上回る水揚量となりました。水揚の主体は、被鱗体長7.0～8.5cm前後の0歳魚(2019年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の117%、愛媛県では前年の132%、高知県では前年の132%の水揚量となっています。(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

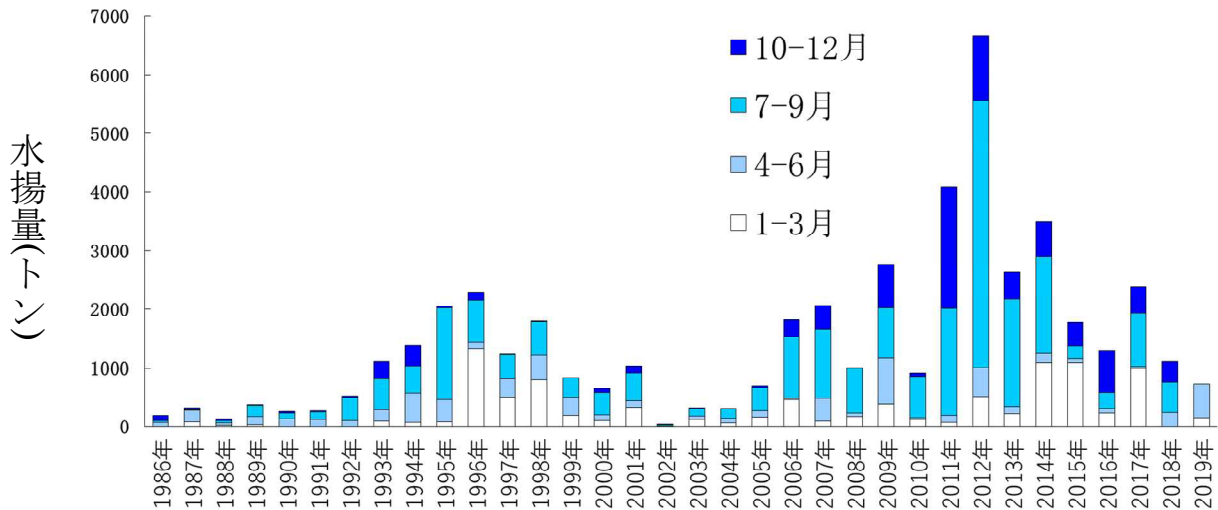


図6 まき網によるウルメイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2019年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は前年を上回るでしょう。(2018年8～12月:564トン)



水揚対象年級群および体長:

8～10月は被鱗体長10～15cm前後の0歳魚(2019年生まれ)が主体となるでしょう。

【説明】

0歳魚(2018年級群)が水揚の主体となる4～6月のまき網漁獲量が前年を上回ったため(前年比806%)、0歳魚の来遊に期待が持てます。さらに資源状態が良好なことも考慮して来遊水準は前年を上回ると予測しました。

■マアジ

□2019年4～6月の漁況経過

2019年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの水揚は116トンで、前年比98%、平年比23%と前年並で、平年を下回りました。期間中の水揚の主体は尾叉長^(用語解説③)15.5～19.5cm前後の1歳魚(2018年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の433%、愛媛県では前年の50%、高知県では銘柄「アジ」が前年の437%で銘柄「ゼンゴ」が前年の16%の水揚量となっています。(宮崎県は1～6月、愛媛県、高知県は4～6月)。

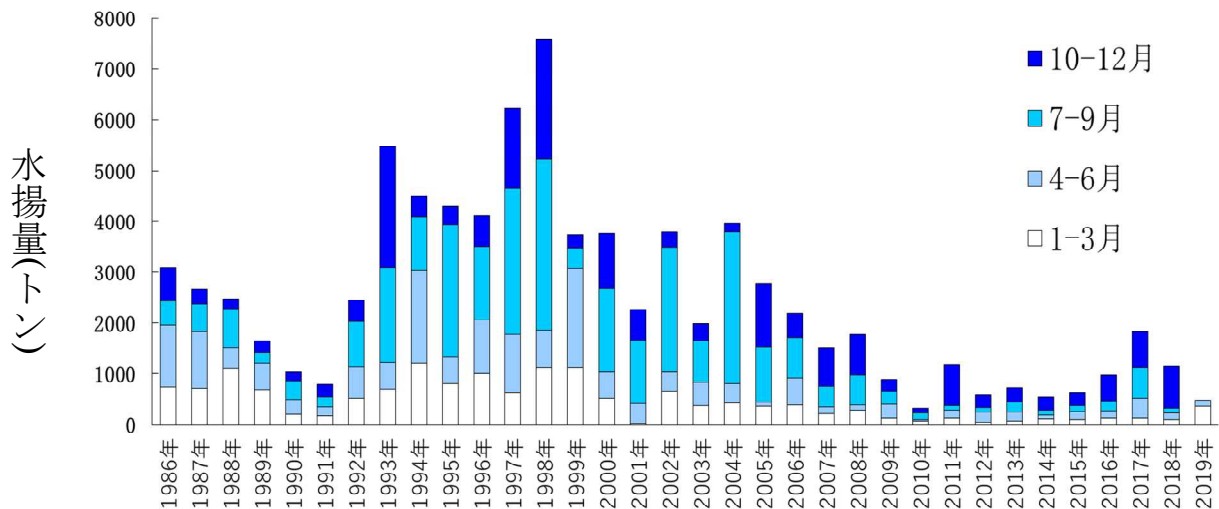


図8 まき網によるマアジの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2019年8～12月>



来遊量:

豊後水道への来遊量は前年を下回るでしょう。(2018年8～12月:887トン)

水揚対象年級群及び体長:

尾叉長13～16cm前後の0歳魚(2019年生まれ)が主体となるでしょう。

【説明】

予測期間中の水揚の主体になるのは0歳魚(2019年生まれ)と推定されます。新規加入個体が見られる1～6月における県南定置網(蒲江)漁獲量と予測期間中の県南まき網漁獲量には概ね正の関係が認められますが、この指標からは好漁の兆しは見られませんでした。よって来遊水準は前年を下回ると予測しました。

■サバ類

□2019年4～6月の漁況経過

2019年4～6月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるサバ類の水揚量は2,539トンで、前年比313%、平年比224%と前年、平年を上回る漁となりました。期間中の水揚の主体はマサバで、4月は尾叉長31～34cm前後の4～5歳魚(2014～2015年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の199%、愛媛県では前年の117%、高知県では前年の89%の水揚量となっています。(宮崎県、高知県は1～6月、愛媛県は4～6月)。

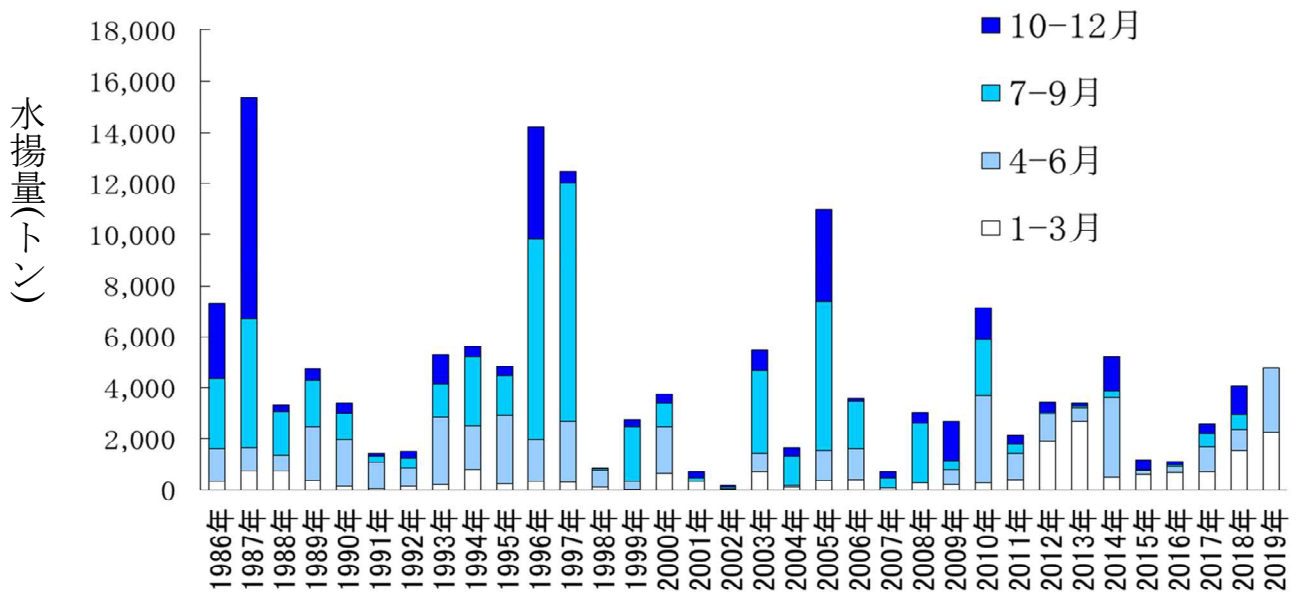


図9 まき網によるサバ類(マサバ・ゴマサバ)水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<2019年8～12月>

来遊量:

豊後水道への来遊量は、前年並でしょう。(2018年8～12月:1,389トン)



水揚対象年級群および体長:

例年、期間中は尾叉長20～30cm前後のゴマサバ0～1歳魚が主体となりますが、近年はマサバの水揚も増加しています。

【説明】

例年、期間中はゴマサバ0～1歳魚が主体となりますが、資源状態を考慮すると来遊に期待が持てません。一方でマサバは資源状態が良好であり、海況によっては来遊に期待が持てるため、比較的好漁であった昨年並と予測しました。

その他

■ 予測の根拠および参考資料

・予測は、中央水産研究所および関係都道府県による、「令和元年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類など長期漁海況予報会議」結果を基に、最新の情報を加味して行っております。

URL: <http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2019/20190806/index.html>

■ 用語解説

- ①被鱗体長 : 体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ②近隣海域 : ここでは、3県（宮崎県・愛媛県・高知県）の海域とし、高知県の漁獲量の前年比は宿毛湾における中型まき網によるものとししました。
- ③尾叉長 : 体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

■ 問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 資源増殖チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6
電話:0972-32-2155
FAX:0972-32-2156